

2016年度多文化関係学会 第3回理事会  
議事録

日時：2016年10月2日（日）12：45 -14:00

場所：佐賀大学 学生ホール B

出席：石黒、奥西、笠原、田中、出口、渋谷、中川、長谷川、原、湊、守崎、  
山田、山本、久米（監事）、小松（監事）

報告事項

1. 事務局

- ・会員数（3年間未納者を除く）：300名（内学生59名、シニア4名）  
    ※3年以上の会費未納者：87名
- ・インターブックスとの学会誌製作・販売に関する覚書締結
- ・日本学術会議の学術研究団体実態調査依頼へ対応

2. 各委員会報告

○関東地区研究会

ミルトン・ベネット氏との日程調整を行い、3月11、12日のいずれかに講演  
開催する。

○NL委員会

NL2月号の原稿依頼があった。原稿の締め切りは2017年1月5日。

○学術委員会

特定課題研究について、次回募集の日程を10月頃決めることにしたい旨説明  
があった。

※その他の委員会については定期総会で活動報告済みのため、理事会では割愛。

3. 年次大会について

今回の大会参加者は87名（速報）。

協議事項

1. 石井奨励賞今年度選考結果について

審査経緯の説明後、芝真理氏、柿原豪氏の2名授賞が提案され、了承された。

審査は審査員 3 名（学術・編集・学会から各 1 名）が 1 次審査（書類審査）、2 次審査（口頭審査）を各評価シートにもとづいて行った。（※評価シートについて採点項目の整理等、改善が望まれる箇所の指摘があったため、今後に見直しをすることとする。）

なお、同一人物の複数回の受賞については、応募要件に合致している限り妨げないことが確認された。

## 2. 理事選挙について

今回の選挙で新理事を 6 名選出することが確認された。11 月に被選挙人名簿を郵送、12 月に投票というスケジュールとする。

また、監事については、引継ぎに支障が出ないよう 2 名のうち 1 名を改選とする。監事の役割が十分会員間で理解されてきていない現状から、選挙資料では会計監査の仕事について明記する。これまで監事の任期については明文化されていないため、今後整備をすることとする。

## 3. 来年度以降の年次大会について

2017 年度北海道大会（藤女子大学）に続く年次大会会場について、2018 年度に名古屋（椋山女学園大学）、2019 年度に神奈川（東海大学）での開催を内定した。

## 4. その他

(1) 2015 年度岡山大会の決算に関して約 15 万円の黒字分を今年度佐賀大会の運営資金に繰り越す旨報告があった。その用途として予定していた英語によるプレゼンに関する出版物は、学会企画のテキストとして英宝社より出版することになった。

(2) 若手会員のネットワーク作りについてのヒアリングが年次大会中実施された。その結果、若手研究者同士の横のつながりのほか、先輩研究者との縦のつながりを作りたいという思いがあるほか、業績につながるような活動を介したネットワーク形成を強く希望していることが明らかになった。今後も本学会にふさわしい若手会員ネットワークのあり方を継続して審議することとする。

次回理事会：2017 年 3 月 11 日 開催予定